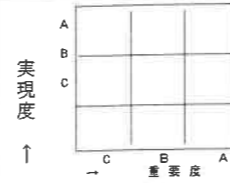


2 函南町教育委員会の自己点検・評価シート

自己点検・評価の考え方

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について自己点検・評価を行う。点検・評価シートでは、教育委員会の責任体制を明確化するため、「教育委員会の活動」、「教育委員会が管理・執行する事務」、「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」に分けた。「教育委員会の活動」では教育委員会会議に係る事項や教育委員研修などの教育委員自身が行っている活動についての点検・評価を行う。「教育委員会が管理・執行する事務」については、函南町教育委員会規則に則り、教育委員会の責任により実行すべき事項について自ら点検を行う。「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」については、『平成31年度教育要覧』に示されている「教育行政の方針「函南町教育大綱 ～重点施策推進プラン～」の実現に向けて」に基づき、目標、基本方針、施策の柱を設定し点検・評価を行う。



マトリクスの見方
(実現度)
A … 概ね達成
B … もう少しで達成
C … 普通

(重要度)
A … 非常に重要
B … 重要
C … 普通

大項目	中項目	小項目	点検・評価
1 教育委員会の活動	(1) 教育委員会の会議の運営改善	①教育委員会会議の開催回数	<p>教育委員会の中核となる会議であるため重要度はAとした。 実現度については開催数と発言内容を指標とした。開催数では、定例会教育委員会を毎月開催し、各議題について協議した。必要な回数を満たしたと判断し、実現度をAとした。</p>
		②教育委員会会議の運営上の工夫	<p>教育委員会の会議運営上のことなので重要度はAとした。 会議だけではなく学校等教育施設訪問を実施して教育現場の実情も把握しており、実現度をAとした。</p>
	(2) 教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	①教育委員会会議の傍聴者の状況	<p>教育委員会の活動を公開していくことは重要なことであるので、重要度はAとした。 令和元年度の傍聴者はなかったが、会議の予定及び傍聴できる旨の説明をホームページ上で行っているため実現度はAとした。</p>
		②議事録の公開、広報・公聴活動の状況	<p>議事録の公開は、会議の公開に付随する事項であるので、重要度をAとした。 議事録はホームページ上で公開しているため実現度をAとした。</p>
	(3) 教育委員会と事務局との連携	○教育委員会と事務局との連携	<p>教育行政を進めるうえで、教育委員会と事務局との連携は非常に重要であるため、重要度はAとした。 教育委員会と事務局の連携により教育委員会会議の場において議事はスムーズに進行しており、会議以外の場においても教育委員会と事務局の連携はとれている。以上のことから実現度はAとした。</p>
	(4) 教育委員会と首長の連携	○教育委員会と首長との意見交換会の実施	<p>町長・町長部局との連携は必要であり重要度はAとした。 地方教育行政の組織及び運営に関する法律により開催が義務付けられている、教育委員と町長による総合教育会議も令和元年度は2回実施し意見交換がなされた。以上のことから実現度はAとした。</p>
	(5) 教育委員の自己研鑽	○研修会への参加状況	<p>教育委員が自己の研修を行って、意識向上に努めることの意義は大きく重要度はAとした。 実現度は、研修の参加回数を指標とした。県教育委員会主催の研修会に出席し、2市1町教育委員情報交換会にも参加している。また、教育委員会定例会時に教育長を中心とした自主的な研修も行っており、実現度はAとした。</p>
	(6) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備	①学校訪問	<p>教育の中心である児童・生徒たちが学ぶ学校・園への訪問は必要不可欠であり重要度が高くAとした。 実現度は訪問回数を指標とした。令和元年度は教育委員会開催前に各校・園を訪問して校(園)長との意見交換、授業参観、施設設備の状況確認、給食の試食を行った。小学校4校、中学校1校、幼稚園5園を訪問した。台風19号の影響によって訪問できない学校・園があったものの、訪問した箇所については充実した内容とすることができたため、実現度はAとした。 教育現場における施設の状態、授業等の状況などを理解するためにも、今後も実施すべき事業と位置づける。</p>
		②所管施設の訪問	<p>社会教育施設への訪問は重要度が高くAとした。 令和元年度は、生涯学習課の施設である肥田簡易グラウンドと関連施設として川の駅の視察を実施したが、視察数が少なかったため実現度はBとした。</p>

2 教育委員会が管理・執行する事務

<p>(1) 学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること</p>		<p>教育に関する方針を定めることは重要度が高くAである。 「第六次函南町総合計画」の基本理念である「環境・健康・交流都市函南 ～住んでよし、訪れてよし 函南町～」に基づき、令和元年度の函南町教育目標を「豊かな感性と『生きる力』をもつ子どもの育成」と定めた。また、総合教育会議において令和2年度からの新たな教育大綱を定めたため、実現度はAとした。</p>
<p>(2) 学校・公民館・文化センター及び図書館の設置及び廃止を決定すること</p>		<p>令和元年度は設置及び廃止はなかった。</p>
<p>(3) 1件80万円を超える教育財産の取得を申し出ること</p>		<p>令和元年度は給食用備品（スチームコンベクションオープン）の購入を行った。 重要度Aとし、実現度Aとした。</p>
<p>(4) 県費負担教職員の懲戒及び県費負担教員たる校長の任免その他の進退について内申すること</p>		<p>県費負担教職員の人事異動の内申について、2月定例教育委員会で審議した。 重要度Aとし、実現度Aとした。</p>
<p>(5) 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること</p>		<p>相次ぐ不祥事により、世間の注目度も高く、重要度をAとした。年度当初や必要な都度、各学校長より教職員へ服務についての指導を徹底しており、実現度もAとした。</p>
<p>(6) (4)、(5)のほか人事の一般方針を定め及び懲戒を行うこと</p>		<p>県費負担教職員の人事の一般方針について、2月教育委員会で審議した。 重要度Aとし、実現度Aとした。</p>
<p>(7) 県費負担教員以外の校長及び図書館長の任免を行うこと</p>		<p>令和元年度の新たな任命をしていない。</p>
<p>(8) 教育委員会事務局及び教育機関の職員の任免を行うこと</p>		<p>令和元年度の新たな事務局及び教育機関職員の任免について、3月定例教育委員会で承認した。 重要度、実現度もAとした。</p>
<p>(9) 学校・公民館・文化センター及び図書館の敷地を選定すること</p>		<p>令和元年度は新たな敷地選定はしていない。</p>
<p>(10) 1件130万円以上の工事の計画を策定すること</p>		<p>令和2年度教育費当初予算要求の中で、工事計画(西小学校トイレ洋式化工事、小学校防犯カメラ設置工事等)について2月定例教育委員会で審議した。 重要度Aとし、実現度Aとした。</p>
<p>(11) 教育委員会規則の制定又は改廃を行うこと</p>		<p>規則等の制定、改正 函南町立学校教職員の人事評価に係る相談及び意見の申出に関する取扱い要綱、函南町学校運営協議会規則、函南町社会教育指導員設置規則の一部を改正する規則、函南町立幼稚園預かり保育条例施行規則の一部を改正する規則、函南町立小学校並びに中学校の児童及び生徒の通学する学校を指定する規則の一部を改正する規則、函南町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則、函南町立小・中学校管理規則の一部を改正する規則、函南町教育委員会非常勤職員任用管理規則の一部を改正する規則、函南町学校運営協議会設置要綱の廃止、函南町立小・中学校処務規程の一部改正、函南町立小・中学校出勤簿整理要領の一部改正を審議し承認した。 重要度Aであり、実現度Aとした。</p>
<p>(12) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申出ること</p>		<p>令和元年度第1号補正予算(5月定例委員会)、平成30年度決算報告、令和元年度第2号補正予算(8月定例委員会)、令和元年度第4号補正予算(11月定例委員会)、令和2年度当初予算、令和元年度第5号補正予算(2月定例委員会)を審議し承認した。 重要度Aとし、実現度Aとした。</p>
<p>(13) 法令及び条例に定めのある附属機関等の委員の任命又は委嘱及び解任又は解職を行うこと</p>		<p>函南町いじめ防止等生徒指導連絡協議会委員、函南町社会教育委員、函南町公民館運営審議会委員、函南町放課後子どもプラン運営委員、函南町立図書館協議会委員、函南町就学支援委員、函南町結核対策委員、かんなみ仏の里美術館運営審議会委員、函南町スポーツ推進委員、函南町放課後子ども教室コーディネーターの委嘱について審議し承認した。 重要度A、実現度Aとした。</p>
<p>(14) 校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること</p>		<p>教育基本構想の方針を定め、その方針に基づいて次の研修を計画、実施した。 初任者研修会、校長会、いじめ防止等生徒指導連絡協議会、不登校連絡協議会、教育の情報化研究推進委員会、教務主任研修会、特別支援コーディネーター研修会、支援員研修会 重要度Aとし、実現度Aとした。</p>
<p>(15) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること</p>		<p>令和元年度は新たな区域の設定、変更はなかった。</p>
<p>(16) 教科用図書の採択に関すること</p>		<p>令和2年度～5年度使用の小学校教科用図書及び令和2年度使用の中学校教科用図書の採択について、6月定例教育委員会で審議した。 重要度Aとし、実現度Aとした。</p>
<p>(17) 文化財の指定及び解除に関すること</p>		<p>令和元年度は文化財の指定及び解除はなかった。</p>

(1) 生涯にわたる学びを支える環境づくり (生涯学習社会の形成)	(ア) 赤ちゃんから高齢者までの読書活動を推進し、生涯学習のまちづくりに向けて、学びの機会の充実やボランティア等指導者の養成と活用を図ります。		「読書のまち・かんなみ宣言」に基づき、図書資料の整備・充実を図り、赤ちゃんからお年寄りまでライフステージに沿った各種読書活動推進事業をボランティアの協力のもと実施した。知識と情報拠点の場として、生涯学習機会の提供と充実を図る役割を果たしている為、重要度をAとした。令和元年度は、子どもの読書を推進する活動において特色ある優れた実践を行なっているとして、「平成31年度子どもの読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰」を受賞した。また、国立国会図書館のレファレンス協働データベースに参加し、住民に必要な情報発信を拡大したことから実現度もAとした。
	(イ) 安心安全な学校施設の整備を進め、教育環境を改善する取組を進めます。		児童・生徒の安全安心な教育環境を確保するため、第六次函南町総合計画に基づいて、これまで各学校校舎、体育館、園舎の耐震補強、大規模改修工事を進めてきた。重要度はAとした。2ヶ年に渡る函南中学校大規模改修工事(空調設置も含む)が令和元年度に完了し、空調設備設置工事も小学校全校及び東中学校で実施したことから、実現度もAとした。
	(ウ) 心身ともに健康で「頼もしい教職員」の育成を図り、不祥事根絶に努め、共生社会を支える人権尊重の教育と啓発に取り組めます。		静岡県教職員研修指針で述べられている「頼もしい教職員」の育成であり、重要度はAとした。教職員の定期的な健康診断を実施し各々の健康管理に努めており、不祥事についても起こしていない。人権教育の重要度についても、校長会等を利用し指導している。大きな問題もなかったため実現度もAとした。
	(エ) 新しい時代を展望した教育行政の推進に向けて、実効性のある施策が展開できるように各部署と一層の連携を図ります。		町長・町長部局との連携は必要であり重要度はAとした。町長部局の企画・立案によるかんなみスポーツ健康フェスタでは、キックターゲットを行ったほか、細かな裏方の仕事まで、綿密な打ち合わせを行い、連携して開催することができた。以上のことから実現度はAとした。
(2) 学びの場の充実と円滑な接続による人づくり (ライフステージの円滑な接続)	(ア) 家庭のニーズや保護者の状況に応じた支援により家庭の教育力向上を図り、健康づくり課、子育て支援課、教育委員会等、関係機関と連携し、幼児期教育の充実と共に、小・中学校への円滑な接続を図ります。		各課、機関が連携して、就学前からの幼児教育を充実させることは子供の成長に大きく関わることであり、重要度はAとした。幼稚園や保育園を訪問し、就学支援に結びつけたり、就学前検診の確実な受診を目指した取り組みができていますので実現度もAとした。
	(イ) 児童生徒が自他を大切にできる態度や行動力を育み、いじめ、不登校等の解消、家庭に問題を抱える児童生徒への対応のため、教育相談体制の充実や教職員・学校の対応能力向上に努めます。		不登校傾向を示す児童生徒は年々増加しており、多様化する問題傾向への対応は急務である。そのため相談体制の充実や学校の対応能力の向上は必須の内容であるため重要度はAとした。函南町いじめ防止等生徒指導連絡協議会及び情報交換会を年間5回開催し予防、対策等について協議した。函南町いじめ問題対策専門委員会を招集する重大事態の発生はなかった。また、不登校児童生徒への「かかわり支援率100%」を継続できていることから、実現度もAとした。
	(ウ) 「徳・知・体」のバランスのとれた「生きる力」の育成に取り組み、発達障がい等を含めた幼児、児童生徒の教育的ニーズに対応し、教育の各ステージで指導と支援の充実を図ります。		それぞれのステージにおける子供の教育的ニーズに対応した指導、支援を充実させ、「生きる力」を育むことの重要性を鑑み、重要度はAとした。発達障害等を抱えた子供に対して、特別支援学級、通級指導教室、ことばの教室が整備できている。令和2年度からの新支援学級、中学通級指導教室の開設、さらに「幼児教育センター」の設立準備もできた。保幼小中の「接続カリキュラム」も整備したことから、実現度もAとした。
	(エ) 学校・地域・企業等が連携し、職場体験等の活動を通してキャリア教育を進め、児童生徒一人一人に望ましい勤労観、職業観を育成します。また、中高連携により確かな進路指導に取り組めます。		自己実現を目指した進路指導や、キャリア教育については、特化した取り組みの他、様々な場面で取り組むべきことであるため、重要度はBとした。教育委員会の指導の下、各小中学校では、職業調べや職業講話、職場体験等、計画的に指導が行われているので、実現度はAとした。
(3) 地域総がかりで子供たちを育む環境づくり	(ア) 園・学校における教育推進の重点に「交流」の視点を位置付け、「多様な学び」や「体験活動」の充実と活性化を図ります。		開かれた園・学校づくりを進める上で、「交流」の視点を重視して多様な学びや体験活動を充実させることは重要であるため、重要度をAとした。それぞれの園や学校では、相互に積極的な情報提供をしている。特に、丹那小学校、桑村小学校をコミュニティースクールとして設置し、丹那小では「玄岳遠足」や「オール丹那運動会」等を実施、桑村小では日常的な登下校の見守り、放課後補充学習「桑村道場」等を実施するなど、地域学校協働本部事業を活用し地域の教育力を学校等へ提供できる環境整備を進めることができた。東小の「防災キャンプ」、中学校の「職場体験」など地域との交流による多様な学びが推進できたので、実現度をAとした。
	(イ) 各区等での地域活動に児童生徒を積極的に参加させ、幅広い交流活動を通して、互いの理解と信頼を深め合い、成長できる教育風土を醸成します。		学校生活だけでは体験できない地域での様々な活動に参加することは、児童生徒の「人間力」の形成において有意義であるため、重要度はAとした。地域活動への児童生徒の参加が定着しており、多くの児童生徒が区の防災訓練や祭典、体育祭、清掃活動などの区の活動に参加している。また、参加するだけでなく体育祭等の準備や手伝いを積極的に行う様子も見られる。今後は計画された活動に参加するだけでなく、児童生徒による自主的な活動の実施が求められること、また小学生の参加数が少ないなど課題があるため実現度はBとした。
	(ウ) 丹那小学校、桑村小学校では「静岡型コミュニティ・スクール」として、「地域とともにある学校づくり」をテーマに、小規模校の良さを生かした教育活動を推進します。		小規模校の存続を明言した両校が存在意義を示していくことはとても大切なことであるため、重要度はAとした。コミュニティースクールとしての活動も定着し、修学旅行などの共同学校行事を進めることもできたため、実現度もAとした。
	(エ) CSディレクターを置き、コミュニティ・スクールと地域学校協働本部事業のコーディネイトを行います。		地域と学校との持続可能な協働体制を築くために、CSディレクターの存在は欠かせないため、重要度はAとした。学校運営協議会の会合にCSディレクターが参加し、丹那小、桑村小のコミュニティースクール運営のコーディネイトを実践したため。実現度もAとした。
(4) 生きがいや潤いをもたらす文化・スポーツの振興	(ア) 郷土の歴史や文化に対する誇りや愛着を育むため、文化財等を活用した地域に関する教育を推進する。		地域の先人が伝え、残した文化や歴史について、文化財等を用いた「学び」を推進することは、郷土に対する誇りや愛着を育むことに効果的であるため、重要度はAとした。町内の小中学校では、仏の里美術館を教育資源と位置づけ、地域学習や修学旅行の事前学習の場として、毎年継続して活用している。小学校社会科副読本『函南たんけんたい』を改定し、郷土に関する情報を再編集することにより、最新の情報を元に郷土理解を深める準備ができたことから実現度もAとした。
	(イ) スポーツ・健康長寿フェスタを実施し、町民の健康づくりを推進します。		スポーツを通じて、赤ちゃんから高齢者・障がいのある人まで、全ての町民が生き生きとした生活を送るとともに、地域住民の交流や心豊かな暮らしを育むことができる新たな生涯スポーツ社会の実現を目指していることから重要度はAとした。屋外におけるスポーツイベントについては天候に左右されやすく、かんなみスポーツ健康フェスタは、健康長寿の要素を加え、第1回スポーツ健康長寿フェスタとして文化センターで開催し、キックターゲットを行った。初めてのイベントで事前準備や周知が思うようにできず、想定ほど参加者がなかったことを考慮し、実現度はBとした。
	(ウ) 部活動を支援する外部指導者の活用等、運動部活動の在り方と支援について研究します。		子どもたちの多様なニーズに合わせた体制作りや教師の多忙化問題等急務の課題であるため、重要度はAとした。しかし、外部コーチなどの活用は行っているものの、外部指導員の導入等函南町単独で取り組むことは難しく、進展していないため実現度はBとした。

(5) 今日的な重要課題に対応した教育の推進	(ア) 児童生徒の情報活用能力の育成に向け、ICTを活用した教育活動を推進し、授業の改善を図ります。	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr><td>実</td><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>現</td><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>度</td><td>C</td><td></td><td></td><td style="text-align: center;">★</td></tr> <tr><td>→</td><td>C</td><td>B</td><td>A</td><td></td></tr> <tr><td></td><td colspan="4" style="text-align: center;">重要度</td></tr> </table>	実	A				現	B				度	C			★	→	C	B	A			重要度				指導要領にも示され、これからの時代を生き抜く子どもたちにぜひとも身につけさせたい力であるため、重要度はAとした。校務支援システムを導入し3年がたち、活用も図られてきている。授業改善においては、普通教室への大型モニタ設置等の整備を進めることができたが、それを生かす機器等の整備がまだ不十分であり、実現度はBとした。
	実	A																										
	現	B																										
度	C			★																								
→	C	B	A																									
	重要度																											
(イ) 教職員の長時間勤務の改善を図ります。	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr><td>実</td><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>現</td><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>度</td><td>C</td><td></td><td></td><td style="text-align: center;">★</td></tr> <tr><td>→</td><td>C</td><td>B</td><td>A</td><td></td></tr> <tr><td></td><td colspan="4" style="text-align: center;">重要度</td></tr> </table>	実	A				現	B				度	C			★	→	C	B	A			重要度				教育職員が心身ともに健康で、その職責を遂行するためには、働きやすい環境を整えることが必要であり、決められた勤務時間の中で、授業や授業準備、児童生徒と向き合う時間を確保することが喫緊の課題であることから、重要度はAとした。令和元年度より業務改善委員会を立ち上げ、勤務状況の把握とともに、「函南町立学校教育職員の勤務時間の上限に関する方針」を定め、「学校における働き方改革のための業務改善方針」を策定した。働き方改革に対する意識改革は進んできているため実現度はBとし、更に実質的な改善に繋げていきたい。	
実	A																											
現	B																											
度	C			★																								
→	C	B	A																									
	重要度																											
(ウ) 「函南町いじめ防止等生徒指導連絡協議会条例」および「同運営要綱」に則し、いじめの未然防止を第一目標とし、早期発見、早期対応、早期解決を図ります。	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr><td>実</td><td>A</td><td></td><td></td><td style="text-align: center;">★</td></tr> <tr><td>現</td><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>度</td><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>→</td><td>C</td><td>B</td><td>A</td><td></td></tr> <tr><td></td><td colspan="4" style="text-align: center;">重要度</td></tr> </table>	実	A			★	現	B				度	C				→	C	B	A			重要度				命を守る教育についての重要度は、言うまでもなくAである。いじめの「重大事態」に発展する事案はなかった。各校にいじめの定義や、早期発見、早期対応、早期解決の大切さが浸透し、組織的な対応が実践できているため、実現度もAとした。	
実	A			★																								
現	B																											
度	C																											
→	C	B	A																									
	重要度																											

全体評価

今回の教育委員会の自己点検・評価は第13回目である。前年度に実施した自己点検・評価を活かし令和元年度中に改善された項目もある。

大項目1の教育委員会の活動については、教育委員会会議を中心に教育委員会のなすべき事項の確認をし、実施状況の点検を行ったことにより、現状を把握したうえで活動を行うことができた。

大項目2の教育委員会が管理・執行する事務については、項目ごとの事務の点検と評価により事業の執行状況の確認ができた。

大項目3の教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務の点検・評価を行うことにより、事務局が執行すべき事務の実施状況が確認でき、学校教育課、生涯学習課共に概ね計画通りに事業が執行されていることが確認できた。

教育委員会の活動の状況を確認し、町民が満足する教育行政を推進するため、次年度以降も点検・評価を実施していきたい。